

千歳市公立大学法人評価委員会による令和2年度評価結果を業務運営の改善に反映した状況  
 (公立大学法人公立千歳科学技術大学)  
 (地独法第78条の2(第29条の準用)による公表)

番号	評価項目 (今後期待される事項)	令和2年度評価における 評価委員会意見等	令和3年度の業務運営等への反映状況
1	4 項目別評価 「2 教育研究 等の質の向上に 関する目標を達 成するための措 置」	・外部資金獲得のための 取組を今後も積極的に行 い、大学における研究力 の向上に努めていただき たい。	研究力向上に向けて企業などとの共 同研究・受託研究に積極的に取り組 み、令和3年度は目標15件のとこ ろ、結果は20件となった。
2	4 項目別評価 「3 地域社会 等との連携・協 力に関する目標 を達成するため の措置」	・新型コロナ感染症収束 後、市内高等教育機関で 構成される高等教育連携 ネットワークにおける今 後の取組、学生間交流な どにより、学生の活動の 幅が広がることを期待す る。	北海道千歳リハビリテーション大学 及び日本航空大学校北海道との連携 は、当初、取組可能な学生間交流など を予定していたが、新型コロナウイルス 感染症の影響で実現できなかった が、令和4年2月、オンラインによる SNCコンファレンスなどを開催し、学 生間の意見交換を行うことができた。
3	4 項目別評価 「3 地域社会 等との連携・協 力に関する目標 を達成するため の措置」	・中期計画の指標の一つ 「セミナー、展示等の開 催実績を年2回以上とす る」の実現に向け、具体 的取組を開始することに 期待する。	令和3年度は、展示会への出展を3 回(道内1回、道外2回)行った。
4	4 項目別評価 「3 地域社会 等との連携・協 力に関する目標 を達成するため の措置」	・地域貢献事業について は、ホームページへの掲 載や各種会議での紹介に 加え、各種情報発信を駆 使し、地域連携センター の活動を始めとする各種 事業が、広く市民に認知 され浸透することを期待 する。	これまで地域連携センターwebサイ トや市内連携ネットワーク会議(市内 15団体から構成)等において各種情 報を発信していたが、令和3年度から 新たな手段として、Instagram、 FaceBook、LINEを活用できるよう にし、SNCちとせの取組を紹介するな ど広く市民に広報できる環境の充実を 図った。

5	4 項目別評価 「4 国際交流に関する目標を達成するための措置」	・国際社会の発展に貢献するグローバルな視野を持った人材の育成と、大学の教育研究力の向上には、海外大学との連携強化が重要である。海外大学から高い関心と評価を得られるよう各教員が教育研究力を高める取組を行うことにより、連携強化が進み、大学の国際化が進展することを期待する。	本学はこれまで海外の大学3校（ドイツ1校、韓国2校）と連携協定を締結していたが令和3年度新たにフィリピン大学と協定を締結し、現在、4大学と国際連携協定を締結している。その他、オーストラリア、タイ及びアメリカの大学と研究分野などにおける交流について検討中である。各教員の教育研究力を高める取組として、独自の研究助成制度（学内特別研究費制度）を設けており、学長のリーダーシップのもと10名の教員に研究費を配分した。
6	4 項目別評価 「6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置」	・科学研究費助成事業など外部の研究資金獲得に向け、今後も研修会の開催など具体的な取組を継続し、中期計画の目標である専門教育担当教員の科学研究費助成事業応募申請率100%を実現していただきたい。	外部資金獲得に向けた学内研修会については、オンデマンド形式で9月9日から17日まで開催し、オンデマンド教材を学内ポータルサイトに保存し、教員が随時閲覧可能な環境を整備した。 科研費の応募申請率は、令和3年度は目標60%のところ、実績は76.5%という結果になった。
7	4 項目別評価 「6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置」	・外部資金の獲得については、指標が件数となっているが、より明確な指標として、金額目標を掲げることが今後検討していただきたい。	外部研究費の獲得状況としては、公立大学協会や他大学の状況を見ると、件数で示しているのが一般的であることから、他大学との比較について鑑みた時、これまでどおり、指標は件数で示すことを考えている。経済情勢や社会環境の変化により、変動しやすい金額についてはヒアリング時に口頭で補足説明（金額提示）を行いたい。

8	4 項目別評価 「6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置」	・ホームページにおける寄附の呼びかけについて、トップページにリンクを張るなど、情報へのアクセスのしやすさを工夫し、教育研究活動の充実のための寄附金の確保につなげていただきたい。	閲覧者が寄附金情報にアクセスしやすくするために、ホームページ上段のメニューに、寄附金募集案内が表示される「寄附」というメニューを追加し、常時表示させることとした。さらにホームページのトップページの下段にある各種バナーの部分に、「寄附のお願い」を新設した。
9	4 項目別評価 「7 自己点検、評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置」	・大学の教育研究活動や地域貢献活動について、ホームページへの掲載のみならず、各種情報発信方法を検討し、より大学の取組が広く市民に浸透することを期待する。	地域連携センターでは令和3年度から情報発信の新たな手段としてInstagram、FaceBook、LINEを活用できるようにし、SNCちとせの取組を紹介するなど広く市民に広報できる環境の充実を図った。
10	4 項目別評価 「8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置」	・近年全国的に大規模な自然災害が頻発しており、危機管理体制の強化の重要性が増していることから、策定に着手した防災計画、マニュアルの整備を早期に行い、非常時に備える必要がある。	災害時に対応できる危機管理体制の整備について、学内の衛生委員会にて検討を進めることとし、教職員に対して危機管理に関する意見募集を行った。集約した意見を参考として、まずは危機管理マニュアル（地震対応）づくりを行った。